学年	高校２年	教科	数学	科目	数学Ｂ	単位数	3
教科書名		数学Ｂ（数研出版）		副教材名	サクシード数学Ⅱ+B（数研出版）		
コース・クラス		中高一貫文系					

Ⅰ．目標

数学の基本的な原理や法則を理解させ、知識の習得と技能の習熟を図る。また、それらを的確に活用する能力を育てる。多くの応用問題を通じて、論理的な思考と問題解決技能を修得することを目標とする。

Ⅱ．授業のねらい

1章　数　　列 … 簡単な数列とその和及び、漸化式と数学的帰納法について理解させる。また、それらを用いて事象を数学的に考察させる。

2章　統 計 的 な 推 測… 統計的な推測を行うための基礎となる確率分布について、基本的な概念や演算を理解させる。

Ⅲ. 授業の進め方

1. 教科書を中心に授業を展開する。また、応用力を身につけるため、原則すべての問題を扱う。必要に応じて大学入試問題等も扱う。
2. 単元ごとに小テスト実施し、定着の度合いを図る。
3. 状況に応じて問題集等の副教材を使用する。

Ⅳ. 学習上の留意点

1. 教科書、授業用ノート、問題集、問題集用ノートを必ず用意して授業に臨むこと。
2. 定期試験の返却後、間違えた問題を確認し、復習を必ず行うこと。
3. 提出物の期限は必ず守ること。

Ⅴ．定期試験

教科書と問題集の内容を中心に、幅広く出題する。また、模擬試験レベルの問題も出題する。

1学期　中間試験　：　数列

1学期　期末試験　：　数列・数学的帰納法

2学期　中間試験　：　確率分布

2学期　期末試験　：　確率分布・統計的な推測

3学期　学年末　　：　数列・統計的な推測

Ⅵ. 評価の方法

定期試験、小テスト、提出物の提出状況と内容、授業の取り組み方などを総合的に評価する。

Ⅶ. 授業計画

学期	月	単元・学習項目	評価方法	到達目標
一学期	4 5 6 7	1章　数列 　1節　数列とその和 2節　数学的帰納法	定期試験 小テスト 提出物	・数列の意味と基本的な用語が理解できる。 ・等差数列の和や一般項が求められる。 ・等比数列の和や一般項が求められる。 ・和の記号Σを扱える。 ・階差数列から一般項が求められる。 ・群数列の第n群の総和が求められる。 ・基本的な漸化式が扱える。 ・数学的帰納法を理解して、等式や不等式の証明ができる。
二学期	9 10 11 12	2章　統計的な推測 1節　確率分布 2節　統計的な推測	定期試験 小テスト 提出物	・確率変数と確率分布が理解できる。 ・分散と標準偏差が求められる。 ・確率変数の和と期待値が理解できる。 ・独立な確率変数と期待値・分散が理解できる。 ・二項分布が理解できる。 ・正規分布が理解できる。 ・母集団と標本について理解する。 ・標本平均の期待値と標準偏差が求められる。 ・推定を理解できる。
三学期	1 2 3	数学B総復習 （基礎学力到達度テスト対策）	定期試験 小テスト 提出物	・数学B全範囲の問題演習。

※　シラバスの内容（時間や事項）については、理解度やその他の都合により変更することもある。

※　教材として、入試問題を扱う。